

# 令和4年度 杉並社協ニュース

- ◆1 ページ 【ちょこっとお助け隊！】  
～単発利用サービススタート～
- ◆2 ページ 【生活福祉資金特例貸付】  
～一人ひとりに寄り添った支援を～
- ◆3 ページ 【くらしのサポートステーション】  
～三位一体!! より身近な相談窓口を目指して～
- ◆4 ページ 【あんしんサポート】  
～「あんしん」して暮らせるお手伝い～  
  
【赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動】  
～社協が呼びかける募金～
- ◆5 ページ 【地域福祉コーディネーター】  
～西荻南の充実と天沼 2か所目の展開～
- ◆6 ページ 【車いすを安全に貸し出すために】  
～会員の皆さまに支えられて～
- ◆7 ページ 【ボラセン交流会】  
～ボランティア団体のつながる場～
- ◆8 ページ 【杉並社協70周年記念】  
～ささえあい、これからも～  
  
【地域と共に共助を考えるつどい】  
～そのとき、つながるために～

## ちょこっとお助け隊！～単発利用サービススタート～

ささえあいサービスをご利用されている方から「困った時にちょっと手を貸してもらいたい」との多くの声にお応えして、令和5年1月から利用会員さん向けに

“ちょこっとお助け隊”を開始いたしました。

すぐに、庭のコンテナの片づけの依頼が入りました。定期的な活動が難しい協力会員さんからも参加しやすいと好評でした。

現在は登録している会員さん限定のサービスですが、一人でも多くの方の地域活動に参加するきっかけとなり、「ちょこっとお助け隊」を通じて住民同士の支え合う仕組みを広げていきたいと考えています。



**ささえあいサービスとは**、地域の方に協力会員になっていただき、利用会員(日常生活に手助けが必要な高齢の方や、障害のある方)の家事や介護の援助を行う、住民同士で支え合う仕組みです。

## フォローアップ&外出介助研修



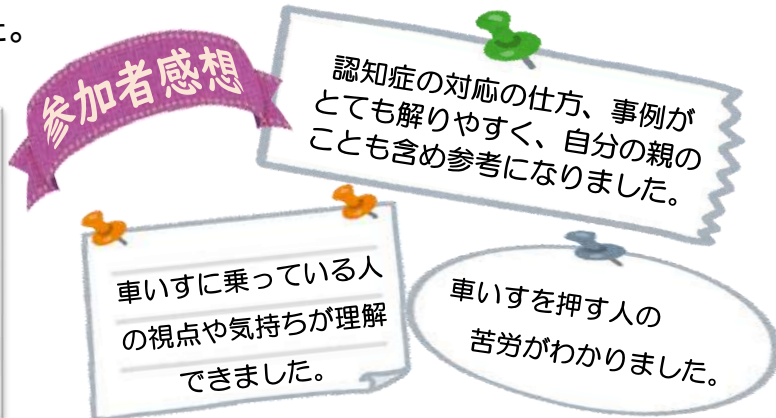
ささえあい活動の幅を広げ、スキルを上げることだけでなく、協力会員さん自身の生活や地域活動の場面でも活かせることを目的に実施しています。

ささえあいサービスの協力会員を対象に、訪問看護ステーションの看護師を講師に迎え、高齢・身体障害・精神疾患の3回シリーズの講義と、外出介助研修を開催しました。

講義は講師の実務経験や車いす体験などの具体的な内容であり、とても好評でした。



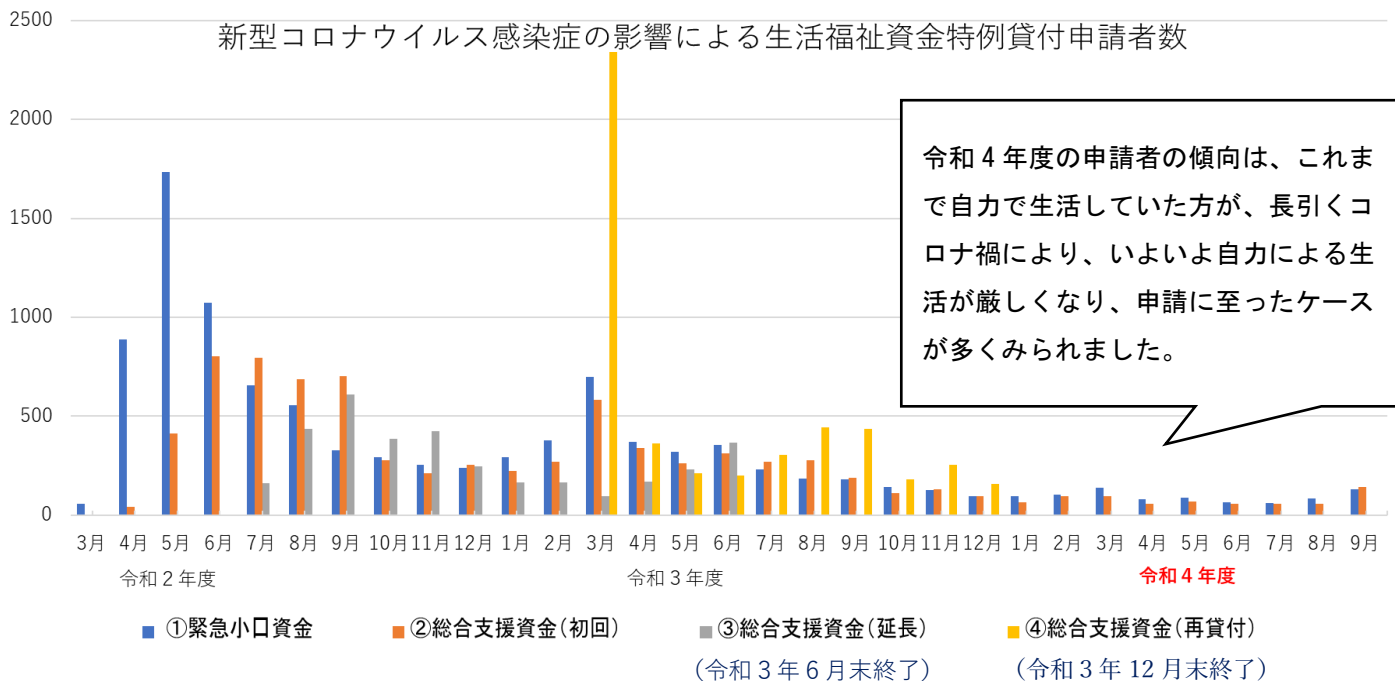
外出介助研修の様子



担当：生活支援課 ささえあい係

# 生活福祉資金特例貸付 ～ 一人ひとりに寄り添った支援を ～

令和2年3月に開始された生活福祉資金特例貸付の申請受付は、令和4年9月をもって終了しました。この間、杉並社協では 26,000 件余りの受付を行いました。



※この貸付は東京都社会福祉協議会がコロナ禍の影響により生活資金にお困りの方に対し実施したもので、杉並社協は、区内在住の方に特例貸付の制度を伝えながら申請受付を担当しました。

令和5年1月から、特例貸付の償還(返済)が開始されたことにより、償還に関する問い合わせが増え、相談支援を行いました。

失業してしまい、再就職先が決まるまで預貯金を切り崩して生活している。



コロナ禍の影響が長引き、収入が回復しない。

日々の生活費を捻出することで精一杯。。。。

今後も丁寧な相談支援を心がけ、福祉事務所や  
くらしのサポートステーション等、各関係機関との  
連携強化を行い、一人ひとりに寄り添った支援をしていきます。

担当：生活支援課 生活支援係

# くらしのサポートステーション ～三位一体!! より身近な相談窓口を目指して～

「くらしのサポートステーション～生活自立支援窓口」(通称:くらサポ)は、生活困窮者自立支援法に基づき設置されている杉並区の生活自立相談窓口です。生活上でさまざまな不安や課題を抱えた方の相談をお受けしています。

## ..... 共通チラシを共同作成 .....

## チラシを使って説明会を実施しました

どのような困りごとを、どこの機関で相談できるのかをより分かりやすくお伝えするため、就労支援機関の『すぎトレ』『すぎJOB』、生活自立相談窓口の『くらサポ』の3機関を一体的にご案内するチラシを共同で作成しました。現在、このチラシはウェルファーム杉並の1階と4階の窓口で配布しています。

窓口の役割が理解でき、全体像も把握しやすい。

実際に相談を受けた場合に活用して、具体的な案内ができる。

困りごとの具体的な例もものっているのでわかりやすい。

「相談のイメージができてわかりやすい」と、好評です。

各機関の役割についての説明は、それぞれの職員が一体的に行うことで、より適切な支援につなげることができます。

具体的な事例をもとに支援を紹介しています。

担当：生活支援課 くらしのサポートステーション係

# あんしんサポート

～高齢になっても、障害を持っても「あんしん」して暮らせるお手伝い～

あんしんサポートでは福祉サービスの利用援助や支払いのお手伝い、郵便物の確認・整理、日常的な金銭管理のお手伝い、大切な書類のお預かりなどを行っています。

## 契約件数

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
新規契約件数	31件	49件	68件	71件	57件
解約件数	37件	38件	33件	41件	58件
年度末契約件数	123件	134件	169件	199件	198件

令和4年度も利用  
する方の多い状況  
が続いています。



認知症が進行し、書類の整理ができなくなっていた高齢夫婦。  
ケア24からの相談であんしんサポートが入ることにより、給付金の手続き  
や都営住宅の減免申請などの支援から生活環境が整い、介護サービスへも  
つながりました。

担当：生活支援課 あんしんサポート係

## 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動 ～社協が呼びかける募金～

どちらも地域福祉の推進のために役立てられる募金で、「誰もが安心して暮らすことが  
できるまち」の実現を目指している社協が地域の皆さまに協力を呼びかけています。

「来年もまたガチャ  
ガチャしにくるね!!」

払込取扱票付  
チラシを作成し、  
一部の地域の皆さま  
にご協力いた  
だきました!!

### 令和4年度 募金額

赤い羽根共同募金 6,147,892円  
歳末たすけあい運動 7,757,982円

10月～12月  
街頭募金を実施しました!!

..... 協力校 .....

- 高井戸小学校
  - 高円寺学園
  - 荻窪中学校
  - 天沼中学校
  - 杉並和泉学園
  - 中瀬中学校
  - 阿佐ヶ谷中学校
  - 西宮中学校
- 児童・生徒 110 人の協力をいただきました。

担当：経営管理課 連携推進係

## 地域福祉コーディネーター ～ 西荻南の充実と天沼 2か所目の展開 ～

地域福祉コーディネーターは地域の困りごと(生活課題)を把握し、解決を図るために、住民主体の支えあいの仕組みを推進しています。



令和4年度は新たに天沼地域にも地域福祉コーディネーターが配置されたことで、町会・自治会や民生児童委員の皆様のご協力を得ながら、地域状況の把握や関係者との信頼関係の構築に向けて踏み出しました。その結果、相談につながるケースも増えています。

### 報告会を実施しました

杉並区が作成した令和元年からモデル地区で実施してきた状況をまとめた「杉並区地域支えあいの仕組みづくり事業報告書」を活用して報告会等を行いました。



個別相談の他、西荻南地域、天沼地域合計での活動件数 **817件**

## 地域支援ネットワーク ～ コロナ禍から広がった支援の輪 ～

地域支援ネットワーク事業では新たな地域課題に取り組み、活動等を活性化・発展していくために組織化するお手伝いをしています。



子ども食堂(地域食堂)は。。。

個人や地域の団体、ボランティアスタッフによる自主的な取り組みです。

未だ集まって食事ができない等課題もある中で寄附や食材の提供を受けながら、それぞれが工夫して運営をしています。

ありがとう!



杉並社協では地域の皆様や企業の方々からたくさんのご寄附とご支援をいただき、子ども食堂等の活動にあたたかい気持ちとともに食材等を届けることができました。

寄附件数:175件(令和5年3月現在)

※杉並社協が寄附の橋渡し等、事務局を担っています。

担当 : 地域支援課 地域福祉推進係



# 車いすを安全に貸し出すために ～ 会員の皆さまに支えられて ～

杉並区内在住で一時的に車いすが必要になった方に対して、原則一か月以内無料でお貸出しています。

## ぜひご利用ください

- ◆病气やけがで一時的に車いすが必要になった
- ◆旅行や通院での歩行に不安がある
- ◆歩行に不安がある家族や親せきが帰省してくる

お近くで借りられるように

車いす貸出拠点 172 か所

(令和5年3月末現在)

杉並社協を中心に民生児童委員、町会・自治会、福祉施設、商店会、企業の皆さまにご協力いただいています



ノーパンクタイヤ(※)

車いすも用意しました。

※タイヤのチューブの中が空気ではなくゴムやウレタンでできています

乗り心地はクッション性が弱く硬めですが、釘を踏んでもパンクしないので、最近では震災救援所の備品の車いすもノーパンクタイヤに交換しているようです。

小学校1年生の子どもが足を骨折してしまいました。車いす貸出のことは以前から知っていましたが、子ども用の車いすがあるとは思っていませんでした。子どもにぴったりの車いすですぐに届きました。本当に助かりました。

たくさんの ありがとう

## ◆ おかげさまで、多くの方に喜ばれています。 ◆

2人目の子を妊娠中、医師から安静にするように言われ、車いすをお借りしました。休日、家族とも車いすを利用して外出することができました。

田舎から祖父母が上京してきた時、長距離の歩行が難しいため、車いすについて調べていたところ、社協で借りられることを知りました。東京の名所を巡ることができ、とても喜んでいました。

貸出し用の車いすの購入・廃棄、メンテナンスには主に皆さまからの会費を使わせていただいています。



担当：地域支援課 地域福祉推進係

## ボラセン交流会 ～ボランティア団体のつながる場～

ボランティアや地域活動をしている方が出会い、つながる場として、11月3日（木・祝）に「ボラセン交流会」を開催しました。

約20団体が参加し、活動内容の展示や発表、各団体が作成した紹介動画を上映しました。また、以下の座談会を開催しました。

### 座談会 「若い世代にもボランティアを広めるには？」

Z(ゼット)世代とは、1990年後半から2015年頃までに生まれた人々のこと

『Z(ゼット)世代』と呼ばれる若い世代の方々から、ボランティアを始めたきっかけや、普段どのように情報収集をしているのか等、今ドキの若者の実態についてお話しいただきました。

『顔が見えて、直接やりとりできる場があって良かったです』

『若い方の貴重な意見、大変参考になりました』

人と人がつながるためには、顔の見える場が重要と考えます。いただいたご意見を参考に、今後も地域でのつながりづくりを応援していきます!!

## 災害ボランティアセンター運営訓練 ～ 共助のまちづくり ～

被災現場に近い場所に「サテライト(※)」の設置を想定して、12月11日(日)に杉並区立柏の宮公園において「災害ボランティアセンター運営訓練」を実施しました。

※サテライトとは、ボランティア活動の調整を行う災害ボランティアセンターの拠点のことです。

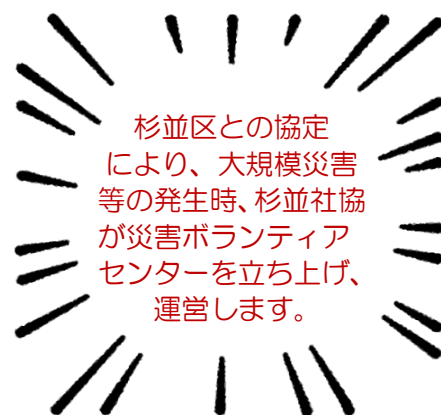


ボランティアに活動を紹介

災害時には地域の皆様のご協力が不可欠です。今後も、被災者支援につなげられるよう、災害ボランティアの役割や重要性について区民等に周知を図りつつ、平時からの取り組みを進め、いざという時にスムーズな運営が行えるよう、毎年、実践的な訓練を実施していきます。



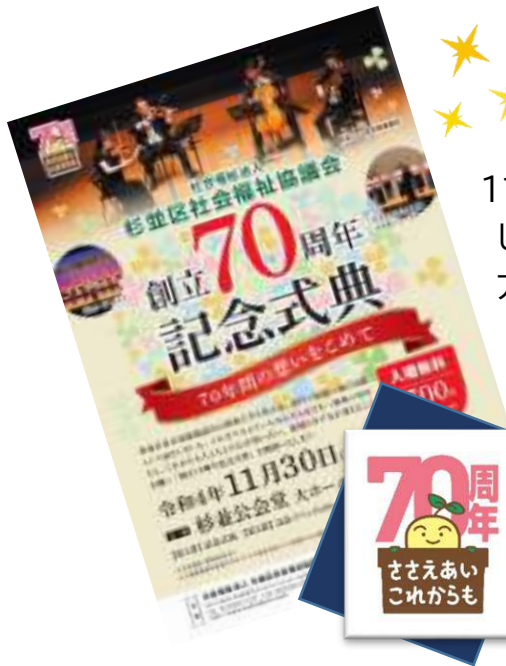
貸出資材の確認



担当：地域支援課 杉並ボランティアセンター



# 杉並社協 創立70周年記念式典 ～ ささえあい、これからも ～



多くの皆さまのご来場ありがとうございました

11月30日(水)に、杉並公会堂大ホールにて記念式典を開催しました。当日は天候にも恵まれ、第1部、2部合わせて909名の方にご来場いただきました。また、第2部で出演いただいたウクライナチェリストによる演奏後、ウクライナ支援募金の呼びかけを行ったところ、多くの方がご協力くださいました。

今後も人と人とのつながりを広げ、地域のきずなが深まることを願い皆様とともに歩んでいきます。

杉並社協の紹介動画を制作しました！  
ぜひ、ご覧ください。 →→→



多くの方のご来場により、案内等で混乱をきたし、お待ちいただいた方や入場できなかった方がいらっしやいました。大変ご迷惑をおかけしまして申し訳ございませんでした。

担当：経営管理課 管理係

## 地域と共に共助を考えるつどい ～ そのとき、つながるために ～

東日本大震災を契機に活動を続ける実践者をお招きして共助や支え合いについて考えました。

第1部：パネルディスカッション  
第2部：浪曲口演  
当日参加者：70名



第1部では、登壇者の活動を始めたきっかけを伺い、地域活動の参加がより身近になり、自分の地域で始めてみたいという声や、新たなつながりができたという声がありました。また、事後アンケートには、「現役世代の人が町会や地域活動に関われるきっかけがもっとあるとよい」「身近なところにつながりのヒントがたくさんあることに気づきました」というご意見もあり、このような声に耳を傾けて働きかけていく必要があると感じました。

第2部では玉川太福さんによる浪曲。

杉並区の礎を築いた内田秀五郎の一代記を浪曲で口演し、会場は笑いと拍手に包まれました。

担当：経営管理課 連携推進係

令和5年4月